

第6回議員定数検討会 議事概要

令和5年10月11日 午前10時00分～午前11時00分

16名中14名出席

1. 熊谷座長より

議会報告会を終えて、今後の道筋を決定し、11月にパブコメを行い、12月議会に議案を上程する予定。

9月29日(金)の自治会、まちづくり推進組織をはじめとした全市民対象の議会報告会を終えて感じたことについて一人ひとりご意見を述べていただきたい。

【主な意見】

- ・「選挙が無いことが残念だった。」との意見があった反面、「選挙が無くて良かった。」、「無投票だったことと定数削減を一緒に考えるべきではない。」との意見があった。市民の反応は様々だと思った。
- ・「定数は削減するべき。」という意見が多かったが、「削減は必要ない。」、「削減すると周辺部から議員が出せなくなる。」との意見もあった。削減は必要だが、地域性は考慮するべきだと思う。
- ・議会に関して無関心な市民が多いことを感じた。市民にも責任はあると思うが、議会にも責任がある。情報発信の強化を通じて、議会の動きを市民に伝えなければならないと感じた。
- ・定数を削減することと関連し、報酬を上げることも検討するべき。若者のなり手不足に対応するため、報酬の検討は不可欠。
- ・報酬の検討は、報酬審議会が担うもの。定数の削減と報酬についての検討は切り離すべき。
- ・定数を削減すれば必ず次回選挙になるという保証はない。
- ・削減理由の主なものは、人口減少だと考える。

2. 熊谷座長より

議会報告会のアンケートをみてご意見を伺いたい。

【主な意見】

- ・議会に対して意見が言えるこういう機会をもっと増やしてほしいとの意見があった。市民の皆さんに報告会に来ていただくのではなく、こちらから出向いて報告に伺う機会も必要だと感じた。
- ・地域の要望などは、昔は議員がなんとかできる余地があったが、今は自治会を通してしか受け付けられない。時代が変わってきている。しかしながら、いつの時代も議員は市民に寄り添い、現場主義で対応することが求められている。
- ・定数を削減したうえで、議員の質の向上、情報発信など、議会改革を進めるべき。

【熊谷座長まとめ】

- ・次回、一人ひとりから最後に意見を聞く。一旦定数を決める。
- ・次回は、10月24日(火)を予定。